

事業所名

グループホーム ひまわり

(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付

平成21年 2月24日

評価機関名

㈱東京リーガルマインド

(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員

A:現職 高等学校非常勤講師、訪問指導員

資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター、健康生きがいづくりアドバイザー

B:現職 介護保険施設勤務

資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

自主評価結果を見る

(事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る

(評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	・ 個々の生活スタイルを尊重し、入居者一人ひとりが自宅で暮らしていたような普通の生活を継続できること、個別のペースを尊重し、自己決定できることをめざし、支援している。		
	・ 入居者一人ひとりの生活歴を把握し、今持てる力を発揮できるように、また、今よりもできることが増えていくような働きかけをしていくことをめざしている。		
	・ 家庭的な雰囲気大切にし、職員も家族の一員として入居者と一緒に過ごすように心がけている。		
	・ 入居者個々のニーズや希望に沿った支援をめざしている。日頃から、入居者の行きたいところなどを聞き出し、実現に向けて外出の機会を多く作っている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	・ 入居者一人ひとりの特性を把握し、個別に対応している。時代劇や演歌が好きな入居者には、好きなビデオを観てもらおう等、本人が今日をどう過ごしたいのか、一人ひとりのその日の望みを知ることを大切に、柔軟に支援している。		
	・ ホーム内を徘徊される方もおられるが、その時の入居者の気持ちを大切に、できるだけ制止せずに職員がそっと見守ったり、一緒に歩いたりしている。		
	・ 入居者のそばに寄り添い、一緒に新聞を読んだり、話をしたり等、その方の過ごしたいペースを守りながらゆっくりと暮らしてもらえるように支援している。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

・ スタッフ研修やカンファレンスなど、勉強や話し合いの機会が多く、職員のケアに対する意識レベルは高い。グループ全体で、サービスの質の向上に向けて積極的に取り組んでいる。どの職員も認知症ケアに対し前向きで、入居者の気持ちの奥に潜む真意を感じ取ろうとする姿勢が見られる。

・ 入居前から、入居者一人ひとりについて詳細なアセスメントを行い、個々の特性を把握した上で、今までの生活の延長を基本に捉えた対応を心がけている。選択の自由など、理念に沿ったケアの実践に向けて、個別の対応を心がけている。

・ 入居者や家族の意見をサービスの向上・運営に反映させている。運営推進会議には、入居者や全ての家族に参加を呼びかけ、要望・意見を聞いている。現在の住居は2階で、入居者の活動面・避難面で不安があるとの家族の意見に、エレベーターの設置を検討した。しかし、不可能であることが分かり、家族から要望を探り入れ、3月には別の場所にグループホームが完成し、全員で転居の予定である。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

・ 特に改善の余地があると思われる点はない。
3月には、全員が新しいホームに移るが、一日も早く新しい環境に慣れ、落ち着いた生活を営まれることを期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	・ 入居者一人ひとりのできること・できないことを把握し、無理強いはせず、自分から自然に取り組めるように支援している。		
	・ 入居者がいる場所では固有名詞は出さない、他者の目に触れるような面会簿などは置かず、職員が業務日誌に記録するようにしている等、プライバシー保護の徹底や個人情報の漏洩には十分に配慮している。		
	・ 入居者が居室にいる時には、一人で過ごす時間を大切に、不必要に入室することがないように留意している。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	・ 今年度は、地域交流を図ることを目標に掲げ、入居者が安全でより豊かな暮らしを営めるよう職員が協働して取り組んでいる。		
	・ 事故発生時には報告書に記載し、原因や対策について全員で話し合い、再発防止に向けて努力している。		
	・ 他のグループホームとの情報交換や内・外の研修等に参加し、サービスの質の向上に向けて全職員が向上心を持って取り組んでいる。		